

第 9 回総合部会 主要意見

日時：H21.7.13（月）14:00 － 17:00

場所：県庁 6 階第 2 会議室

【「世界に開かれた平和な島」について】

(国際交流について)

- 課題に「多角的なネットワークを通じた経済的な発展をどう図っていくか。」を入れてはどうか。
- 取り組みとして、「東アジア等とのネットワークの構築により、ビジネス・新産業の創出など、新たな沖縄振興を先導する交流拠点を形成する」ことを入れてはどうか。
- 沖縄の独自性を活かし、民間外交を積極的に打ち出してはどうか。
- 戦略的、継続的に JICA のプログラムを活用することが必要。
- 国際交流の観点から、沖縄をマーケティングモデル地区として活用できないか。

(国際貢献について)

- 「亜熱帯島嶼県・沖縄」として、自然再生に関する途上国への技術協力など、自然再生／温暖化対策を通じた地球環境への貢献が展開できる。
- 「海洋県・沖縄」として、沖縄と共通する社会開発分野等での支援をするなど、大洋州島嶼国の振興に国際協力ができる。

(平和の発信について)

- 取り組みに、「アジア諸国に対する情報発信」を加えてはどうか。
- 普天間を平和のシンボルとして、本部の海、歴史の首里城に次いで、第 3 の国営公園にすることなどを入れてはどうか。

【「多様な能力を発揮し、未来を拓く島」について】

(人材育成について)

- 取り組みにおいて、「大学院大学の活用」だけでなく、琉大や沖縄工業高等専門学校を含めた「高等教育等の活用」にした方がよい。

○県内の NPO、NGO 等、公的機関の次のセクターを担う社会企業家などの育成が課題になりうると思う。

(教育について)

○どれだけ社会に貢献できるか、職業を意識した教育、人財となるような教育の視点が大切だと思う。

○夜遅い時間まで小さい子供を連れて外出している現状は、問題。親のライフスタイルも改善する必要がある。

○将来像で、「トップクラスを維持する。」という学力向上の視点だけではなく、「子供たちの満足度」等の視点も取り入れてはどうか。

(将来像・構成要素等について)

○将来像の最後の文を「一人ひとりが個性と能力を能力を十分に発揮し・・・」から「県民一人ひとり」にした方がよい。

○構成要素は、「人材育成」「教育」だけになっている。大人や各世代をどう活用していくか等、各世代の人材活用の視点も入れてほしい。

【「希望と活力にあふれる豊かな島」について】

(交通体系について)

○「アジア太平洋地域の島嶼地域や地方都市等との多角的な交流を可能とするシームレスな交通体系をいかに構築するか」を追加してはどうか。

○取り組みとしては、「アジアゲートウェイ構想」の更なる推進」を入れてはどうか。

○「交通体系」の将来像において、「エコカー」とあるが、「環境に配慮した自動車」に変えたほうがよい。

○交通体系については、土地、空間利用と融合して考えるべき。ビジョンの段階からその視点を取り入れることが必要だと思う。

【その他】

○沖縄の過去の歴史やビジョンの宣言性、インパクトを考慮すると、将来像で用いられている「島」を「邦」にしてはどうか。